



横浜市立岡村小学校・学校だより R2.7.31 学校ホームページURL <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/okamura/>

「夏休みを直前にして思うこと」

副校長 石渡 範子

これほどまでに予定が立たず、先の読めない状況に陥ったことは今までになかったことです。そのようなコロナ禍の中、私は本校に着任が決まり、「岡村の子どもたちの命を守る」と覚悟をしました。通常ですと、新年度に学校経営方針のもと、年間計画に沿った行事立案をすすめていきますが、今年度は新型コロナウイルスの問題により、当初予定していた大半の行事はやむを得ず中止や延期となってしまいました。



昨年度の3月からの約3ヶ月間(卒業式や入学式・始業式での登校を除いて)、学校は臨時休業となり、子どもたちの学習の場は、学校から家庭へ。その間、私たちは、学習が途絶えることのないように家庭での学習の手助けとなる対策を考え、家庭訪問をしながら作成した家庭学習プリントを配布したり、電話で保護者様や子どもたちと話をしたりし続けてきました。6月に入りようやく学校が再開しましたが、学校は通常の受け入れではなく、感染症の防止対策を徹底的に行う措置を課せられました。それは、子どもたちを守り、教職員も感染症から守るためのものです。はじめは分散登校からスタートしました。クラスを半分にした2グループ構成で、1校時の授業は30分。2校時ずつの授業を行い、緩やかな開始となった第1期でした。第2期からは、クラスのみんなが同じ教室で授業を受けるスタイルをつくりました。密になることを避け、机を離し、ソーシャルディスタンスを保ちながら授業を行いました。6月の1ヶ月が過ぎ、第3期の7月からは給食がようやく始まり、午後まで授業を行うようになりました。給食のガイドラインもしっかり守って実施しました。給食が始まった初日から残食量が少なく、どのクラスもとてもよく食べると担任が喜んでいました。今までは、友だちや担任と話をしながら楽しく食べていましたが、今は全員が前を向き、話をしないで食べる形式になっています。朝登校したらまず手を石鹸で洗い、教室に入ります。休み時間が終わった後も、手を石鹸で洗ってから教室に入ります。頻繁に手を洗う機会が増えました。これも新生活様式です。子どもたちは戸惑いながらも徐々に慣れ、習慣となってきています。また、子どもたちの下校後は、教室内、階段やトイレなどの消毒を全職員で行っています。これも、目に見えないウイルス、感染症から子どもたちや職員の身を守るための対応策です。

新生活様式を取り入れながらも、子どもたちにとってかけがえのない魅力ある学校になるよう、これからも岡村小教職員一同、一丸となって子どもたちを支えていきます。保護者・地域の皆様からのご協力をいただきながら、一層連携を深めていかれるよう、引き続きよろしく願いいたします。

一刻も早くコロナが終息することを願っていますが、非常時を想定し、家庭と学校をつなぐオンライン学習を視野に入れた新学習様式(岡村学習スタイル)を検討していく予定です。

明日から夏休みに入ります。今年は異例の短い夏休みとなりますが、保護者の皆様を始め地域の皆様が健康に安全に過ごされますこと、そして、全校児童が元気に休み明けからも登校できますことを願っています。